

新時代の探究者 千種掃雲

千種掃雲《ねざめ》 1911(明治44)年

夏の昼間、眠りからふと目覚めて上体を起こす女性。帯がゆるみ、浴衣が着くずれて胸元もはだけ、日本髪もくずれています。眠そうな目つきで一点を見つめており、目覚めたばかりでまだ頭がぼんやりとしている様子です。その傍らに置かれた本には「梅暦」と書いてあります。おそらく江戸時代に人気を博した為永春水作の小説『春色梅児誉美』と思われ、色男と女性たちの三角関係を描いたという恋愛物語を楽しんでいたのでしょうか。ごく自然で特別に構えていない女性の姿は、日常的な私的空間をのぞき見したような気持ちにさせられます。開け放たれた簾戸の先には京都の鴨川と対岸の建物が見え、納涼床と思しき高床の建造物が立ち並んでいます。また鴨川には友禅流しに勤しむ人々の姿が見えます。友禅流しとは、友禅の反物に残る余分な糊を洗い落とす作業のことで、明治後期頃から鴨川をはじめとする京都市内の河川で行われていたといいます。当時の鴨川周辺の風情が上手く捉えられています。

作者の千種掃雲(1873-1944)は、京都に生まれ、はじめ神戸で輸出美術品を制作していた茨木翠岳に弟子入りますが、のちに京都で竹内栖鳳の画塾・竹杖会に入門し、本格的に日本画を学びます。また栖鳳の塾に在籍しながら、フランス留学から帰国した浅井忠が1903(明治36)年に開いた聖護院洋画研究所で洋画も学び始めます。当時は日本において西洋画が普及して画家たちが新しい絵画表現を模索しはじめたように、掃雲も日本画表現の革新を目指し、洋画の写実表現を取り入れるようになります。

本作においても、遠近感を表そうとする背景の表現や、日差しを感じさせる簾戸の陰影、女性の唇などの立体表現など、洋画的な手法によって描かれていることが見てとれます。頭頂部には髪の毛をなぞるようにわずかに白い胡粉が塗られ、外からの日差しを受けた逆光のような表現も見られます。また一方で、女性の浴衣の量感は陰影表現ではなく、シワの輪郭線とそれによる模様の変化を忠実に再現して表されています。模様部分には当時まだ珍しい粗い粒子の岩絵具を使用するなど、日本画家として新しい視点で本作に取り組んでいたことがうかがえます。新時代とともに技術改革に邁進した作者の意気込みを感じさせる一作です。

(当館学芸員 大森奈津子)



コレクションルーム 春期

特集 絵になる京都

2022年4月29日[金]— 7月10日[日] 本館 南回廊 1階

出品作品リスト

No.	登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ(cm)	初出展
-----	------	----	-----	----	-----	-------	---------	-----

春の名品

106号室								
1	日-223	菊池芳文	文久2-大7	春の夕・霜の朝	明治36年	絹本着色 屏風 八曲一双	各158.5×485.0	第5回内国勸業博覧会(大阪)

春から初夏へ 萌立つ季節

110号室								
2	日-078	板倉星光	明28-昭39	春雨	昭和5年	絹本着色 額	256.4×192.4	第11回帝展
3	日-005	案本一洋	明26-昭27	饒春	昭和3年	絹本着色 屏風 二曲一隻	185.2×162.8	第9回帝展
4	日-1204	久保田米隠	嘉永5-明39	雨やどり	明治21年	絹本着色 軸	144.5×50.8	
5	日-847	谷口香嶠	元治1-大4	實方花下避雨図	大正3年頃	絹本着色 軸	124.0×56.5	
6	日-1101	小川千甍	明15-昭46	水田初夏	昭和初年頃	紙本着色 軸	120.0×50.9	
7	日-206	竹内栖鳳	元治1-昭17	驟雨一過	昭和10年	紙本墨画淡彩 軸	194.0×91.5	五葉会展
8	日-076	井上流光	明24-昭20	簾	昭和15年	紙本着色 屏風 二曲一双	各170.0×185.0	紀元2600年奉祝展
9	日-1015	土肥蒼樹	明28-昭22	五月晴	昭和17年	紙本着色 屏風 二曲一隻	269.0×188.5	第5回新文展
10	日-011	野添平米	明28-昭55	内海春色	昭和9年	絹本着色 額	95.5×223.0	大礼記念京都美術館展
11	日-008	徳岡神泉	明29-昭47	麦	昭和9年	絹本着色 額	129.0×140.0	大礼記念京都美術館展
12	日-021	菊池契月	明12-昭30	散策	昭和9年	絹本着色 額	173.0×173.5	第15回帝展
13	日-865	上田道三	明41-昭49	水路	昭和14年	紙本着色 額	167.0×92.5	中村大三郎画塾創立7周年記念展
14	日-277	小林柯白	明29-昭18	那智滝	昭和14年	絹本着色 額	243.0×91.5	第26回院展
15	日-1020	丹羽阿樹子	明33-昭63	遠矢	昭和10年	絹本着色 額	219.0×150.0	第1回市展
南広間								
16	工-005	(六代) 清水六兵衛	明34-昭55	染付草花文花瓶	昭和9年	磁器	高34.0、胴径30.5、 口径14.5	大礼記念京都美術館展
17	工-220	森野嘉光	明32-昭62	清流草花文花瓶	昭和2年	陶器	高53.3、胴径45.5、 口径24.5	第8回帝展

絵になる京都1 画家の視点

109号室								
18	日-1069	原 在中	寛永3-天保8	嵐山春景	文政3年	絹本着色 軸	43.0×76.0	
19	日-854	千種掃雲	明6-昭19	ねざめ	明治44年	絹本着色 軸	71.8×99.7	丙午会春季展
20	日-315	池田遙邨	明28-昭63	南禅寺	大正15年	絹本着色 額	240.0×256.0	第7回帝展
21	日-654	後藤貞之介	明38-昭33	高台寺裏山	昭和8年	絹本着色 屏風 二曲一隻	158.4×186.2	第14回帝展

No. 登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ(cm)	初出展
22 日-761	池田洛中	明36-昭57	東福寺山門	昭和37年	紙本着色 額	145.0×207.0	第34回青龍社展
23 日-122	案本一洋	明26-昭27	送り火	大正5年	絹本着色 屏風 二曲一隻	161.5×236.0	第10回文展
24 日-238	富田溪仙	明12-昭11	宇治川之巻-伏見	大正4年	絹本着色 卷子	50.4×524.6	第2回院展
25 日-015	林 司馬	明39-昭60	舞妓	昭和9年	紙本着色 額	136.0×90.0	大礼記念京都美術館展
26 日-836	佐藤光華	明30-昭19	大原の人	昭和9年	絹本着色 額	181.0×177.0	第15回帝展
27 日-191	小松 均	明35-平1	夏山	昭和32年	紙本墨画 額	215.0×163.0	第42回院展
28 日-032	竹村竜太	明37-昭10	風景	昭和10年	紙本着色 額	69.0×93.0	第1回市展 (緑賞受賞、京都市買上)
108号室							
29 日-807	山岸 純	昭5-平12	大原の里	平成8年	紙本着色 額	144.0×200.0	第28回改組日展
30 日-1223	鳥頭尾 精	昭7-	京都の東山	平成7年	紙本着色 額	175.0×364.0	第22回創画展

釉薬の彩り 宇野家の作陶

南広間							
31 工-804	(初代)宇野仁松	元治1-昭12	青釉磁大花生	明治33-39年頃	磁器	高120.5, 胴径48.0, 口径14.5, 底径28.8	
32 工-805	(初代)宇野仁松	元治1-昭12	紅釉磁大花生	明治33-39年頃	磁器	高120.0, 胴径48.0, 口径14.5, 底径28.8	
33 工-909	(初代)宇野宗薨	明21-昭48	鈎窯胴紐把瓶花生	昭和36年	磁器	高20.7, 胴径18.5	
34 工-814	宇野賢治	明28-昭27	スパニッシュスタイル水瓶	昭和15年頃	陶器	高23.2, 口径4.0, 胴径17.0, 高台径8.0, 高台高0.5	
35 工-811	(三代)宇野仁松	明32-昭57	トルコブルー流し花器	昭和40年代後半	陶器	高17.3, 口径21.3, 底径13.0	
36 工-049	宇野三吾	明35-昭63	碧釉面取壺	昭和41年	磁器	高22.0, 胴径19.5, 口径11.5	第18回京展
37 工-809	(初代)宇野宗薨	明21-昭48	辰砂玉春壺花生	昭和20年代後半-30年代初頭頃	磁器	高30.3, 胴径15.4, 口径7.6, 底径10.2	
38 工-918	(初代)宇野宗薨	明21-昭48	水青磁大内筒花生	昭和47年	磁器	高25.4, 口径14.0	
39 工-816	(二代)宇野宗薨	昭24-	辰砂釉白彩壺	平成9年	磁器	高23.5, 口径12.8, 胴径28.5, 底径10.7	
40 工-817	(二代)宇野宗薨	昭24-	郎窯花器	平成26年	磁器	高23.5, 口径16.3, 胴径19.5, 底径8.0	

絵になる京都2 鮮彩な工芸

108号室							
41 工-507	小合友之助	明31-昭41	山水(比叡山・桂川)	昭和22年	ろうけつ染 屏風 二曲一双	各148.0×139.5	
42 工-345	加藤忠雄	昭14-	白霧の嵯峨野路	昭和59年	彫鍛金 銅	26.0×50.0×24.0	第6回日本新工芸展
43 工-071	皆川泰蔵	大6-平17	京都	昭和35年	ろうけつ染 屏風 二曲一隻	170.5×186.0	第3回新日展(菊華賞)
44 工-459	伊砂利彦	大13-平22	平等院	昭和41年	ろうけつ染 絹 屏風 二曲一隻	148.0×138.0	第10回新匠工芸会展
45 工-765	井牟慶人	昭16-	祇園祭	平成25年	ろうけつ染 綿地 屏風 四曲一双	各156.5×302.0	
46 版-080	浅野竹二	明33-平11	京洛工匠図絵	昭和47-48年	木版 紙 12枚	各24.4×36.4	

絵になる京都3 光そそぐ風景

107号室							
47 洋-244	浅井 忠	安政3-明40	若王子風景	不詳	水彩 紙 額	29.0×23.0	

No. 登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ(cm)	初出展
48 洋-350	長谷川良雄	明17-昭17	糺の森桧垣茶屋	明治40年	水彩 紙 額	24.0×35.1	第6回関西美術会展
49 洋-464	鹿子木孟郎	明7-昭16	樹陰	明治末期	油彩 キャンバス 額	33.6×21.1	
50 洋-068	安井曾太郎	明21-昭30	栗田口風景	明治38年	油彩 キャンバス 額	31.0×43.5	
51 洋-006	原田久之助	明28-昭42	早春風景	昭和9年	油彩 キャンバス 額	89.0×115.0	大礼記念京都美術館展
52 洋-529	須田国太郎	明24-昭36	八坂の塔	大正4年	油彩 キャンバス 額	40.5×32.5	
53 洋-538	須田国太郎	明24-昭36	祇園石段下(祇園楼門)	昭和26年	油彩 キャンバス 額	41.0×53.0	京都観光美術展
54 洋-093	太田喜二郎	明16-昭26	夏の昼	大正8年	油彩 キャンバス 額	180.0×241.0	第1回帝展
55 洋-103	鹿子木孟郎	明7-昭16	加茂川の下流	不詳	油彩 キャンバス 額	32.2×41.0	
56 洋-152	鹿子木孟郎	明7-昭16	鴨川(出雲路橋付近)	不詳	油彩 キャンバス 額	41.0×53.0	
57 洋-481	伊藤快彦	慶応3-昭17	鴨川真景図	明治30年	油彩 キャンバス 額	32.0×135.0	
58 洋-482	伊藤快彦	慶応3-昭17	出町柳	明治30年頃	水彩 紙 額	18.5×28.0	
59 洋-007	国盛義篤	明30-昭26	加茂川の桜	昭和9年	油彩 キャンバス 額	63.5×78.5	大礼記念京都美術館展

モチーフとしての京都市美術館

107号室							
60 日-202	玉城末一	明30-昭18	魚	不詳	絹本着色 額	158.0×185.0	
61 版-142	森村泰昌	昭26-	Fishes (TAMAKI)	平成2年	カラー・プリント 透明メディウム 額 2点組	各260.0×210.0	脱走する写真／11の新しい表現(水戸美術館、1990年)
62 版-603	森村泰昌	昭26-	リタ・ヘイワースA	平成8年	カラー・プリント 額	160.0×120.0	
63 版-604	森村泰昌	昭26-	リタ・ヘイワースB	平成8年	カラー・プリント 額	160.0×120.0	
64 版-145	植松奎二	昭22-	水平の場	昭和48年	写真 額 2点組	各145.0×90.0	1973京都アンデパンダン展(京都市美術館、1973年)
65 版-144	植松奎二	昭22-	垂直の場	昭和48年	写真 額 2点組	各145.0×90.0	1973京都アンデパンダン展(京都市美術館、1973年)
66 版-146	植松奎二	昭22-	直角の場	昭和48年	写真 額 2点組	各145.0×90.0	1973京都アンデパンダン展(京都市美術館、1973年)
67 洋-407	日下部一司	昭28-	裸眼視-3	平成9年	鉛筆 チョーク 綿 額	116.7×90.9	思い出のあした(京都市美術館、1997年)
68 洋-400	日下部一司	昭28-	裸眼視-7・8	平成9年	鉛筆 チョーク 綿 額	72.7×121.2	思い出のあした(京都市美術館、1997年)

魅せる初夏の工芸

106号室							
69 工-133	羽田登喜男	明44-平20	上代紬地友禪訪問着「花心」	昭和53年	友禪染 絹 着物	166.5×130.0	第25回日本伝統工芸展
70 工-951	番浦省吾	明34-昭57	紫陽花彩漆衝立	昭和11年	彩漆 蒔絵 木	114.0×134.0×39.5	改組第1 回帝展
71 工-146	三浦景生	大5-平27	花菖蒲	昭和55年	染色 絹 屏風 二曲一隻	174.0×173.0	第12回改組日展
72 工-037	谷口幸珉	明39-平10	彫金初夏飾盆	昭和20年	彫金 銅	高3.5, 直径30.5	第1回京展(中部日本新聞社賞)
73 工-006	山崎覚太郎	明32-昭59	蝸牛宝石簞笥	昭和9年	蒔絵 彩漆 木胎	17.0×25.5×10.5	大礼記念京都美術館展
74 工-079	楠部彌弑	明30-昭59	彩堦花宴	昭和52年	磁器	高26.3, 胴径25.0, 口径16.0	第9回改組日展